

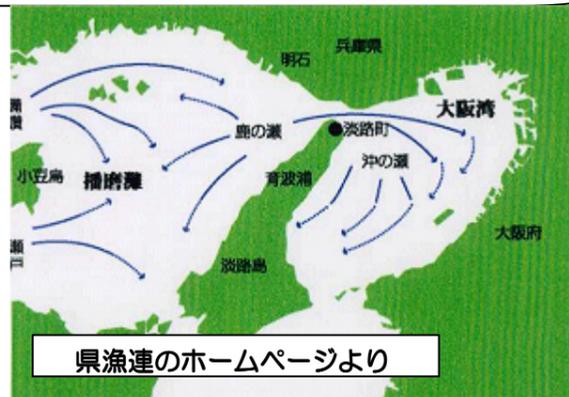
今年のいかなごは不漁でしたが。。



昨年、不漁に加え、垂水沖での貨物船の衝突事故の影響もあって、いかなごの釘煮を控えた皆さん方。今年こそは！と、醤油や砂糖、いかなごパックを買いだめしていらっしゃる方も多いはず。ところが、今年はいかなご漁は不振に終わりました。お値段も高騰し、一時はkgあたり¥3000近い相場に。原因究明まではわかりませんが、水産技術センターの発表情報をお伝えします。



右の図は、いかなごが生まれてから、成魚になっていく動きを示しています。垂水沖の漁では、明石沖の、浅瀬の砂地「鹿の瀬」と呼ばれるところに卵を産み、潮流に乗って大阪湾方面に流れてきたものが成長します。



県漁連のホームページより

神戸空港の周りの海では。。

空港島護岸の断面は、こんな感じになっています。



空港島は、図のように護岸が緩やかな石積みの構造になっています。太陽光が届きやすい浅場が幅広く広がっていて、藻場が作られ、絶好の魚の棲みかとなっているようです。先日ご紹介した人工海水池の海ガメと併せて、環境と調和する空港をPRしていきたいですね。

空港を始め、須磨や舞子の沖の海で撮った写真集から、空港沖の海中で撮れた生物たちをご紹介します。信じられないくらい、美しい魚が泳いでいます。



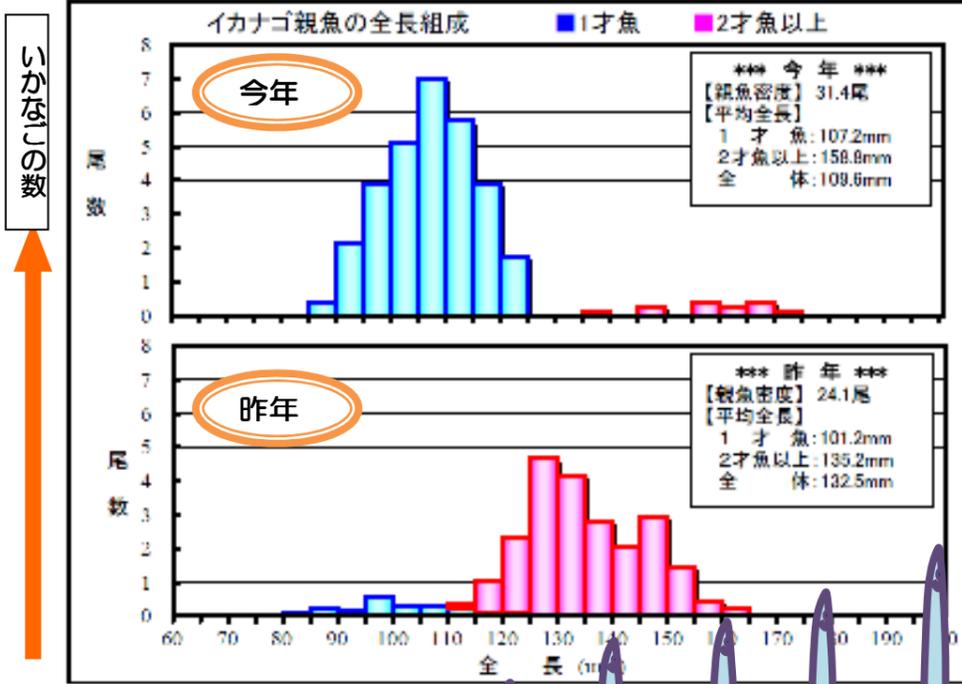
「神戸の海は宝箱」
著者 宮道成彦 (写真・文)
出版 神戸新聞総合出版センター
定価 本体1600円+税



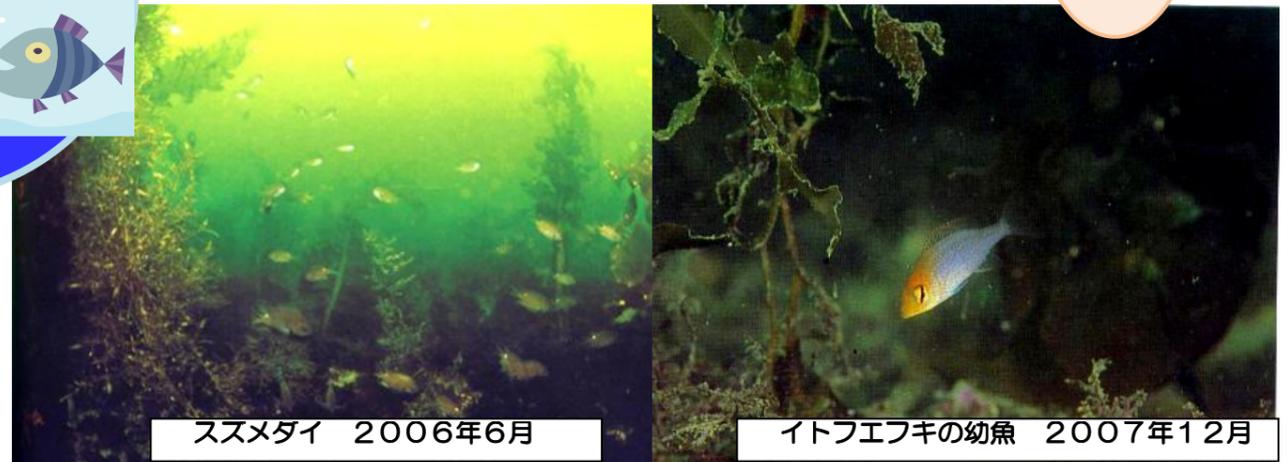
神戸港周辺の海の話から



左の図は、水産技術センターがいかなご漁に入る前に行った鹿の瀬水域での親魚の数の調査結果です。昨年と比べ、2才魚の数が格段に少ないのがわかります。卵を産むのは、1才魚より2才魚になるそうですから、いかなごの世界でも少子化になっていたようですね。今年の1才魚が来年成長して、卵を産んでくれることは、期待できそうですね。夏は砂の中で夏眠することで知られるいかなご、暑さは苦手。温暖化で極端な水温の上昇にならないことを願います。



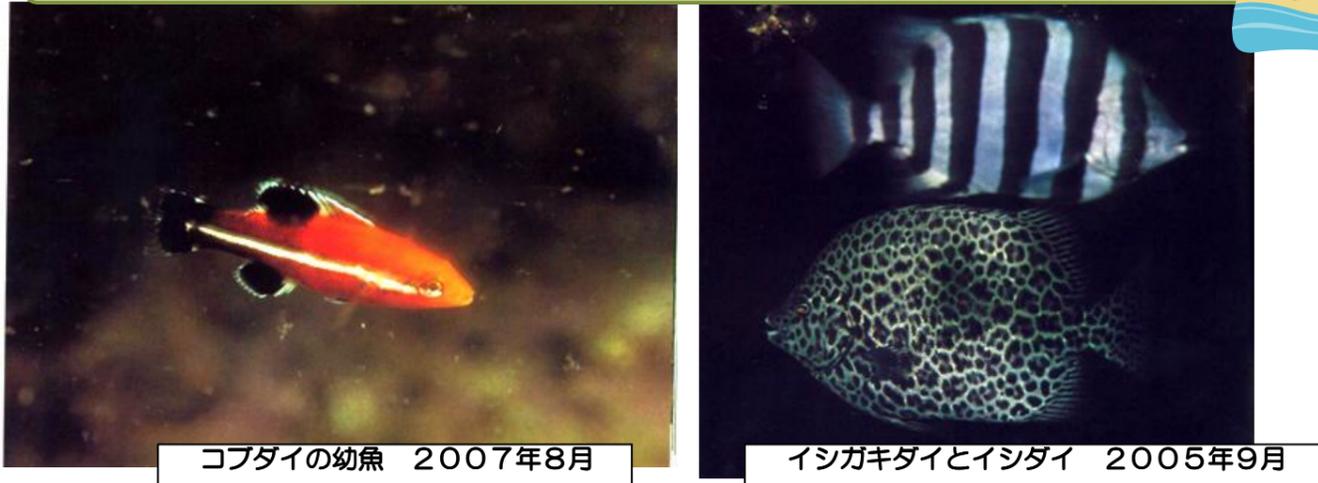
いかなごの大きさ



スズメダイ 2006年6月

イトフェフキの幼魚 2007年12月

空港島の周囲で撮影されたものです。



コブダイの幼魚 2007年8月

イシガキダイとイシダイ 2005年9月

〒655-0034 神戸市垂水区仲田 3-1-8-202
(垂水支部) 神戸市会議員 川原田弘子事務所
TEL&FAX 078-709-8998
e-mail: happy@hiroko-club.com
URL: <http://www.hiroko-club.com>

ご相談はこちらに



〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
民主党神戸市会議員団
TEL 078-322-5844
FAX 078-322-6161